

## 第4回 印西市部活動地域移行推進協議会 次第

日時：令和5年12月18日（月）

13:30～

場所：印西市役所4F 41会議室

開会

### 1 会長挨拶

### 2 報告事項

- (1) 千葉県教育振興部保健体育課からの情報提供 別添1（非公開）
- ・教育振興部保健体育課担当者会議から
  - ・地域クラブ活動指導者人材バンク
  - ・千葉県部活動アプリ

- (2) 印西市部活動地域移行アンケートの分析 資料1（公開）  
印西市部活動地域移行アンケートの結果 別添2（公開）

### 3 協議事項

- (1) 部活動地域移行リーフレット vol.2 について 資料2（2月配付予定）
- (2) 次年度以降のスケジュール 資料3（公開）

### 4 その他

- (1) 他市町の進捗状況
- (2) その他

閉会

#### 【今後の協議会の予定】

■部活動地域移行検討委員会（ 5/10 7/3 9/11 12/8 ）

■印西市部活動地域移行推進協議会（ 5/19 7/18 9/28 12/18 ）

資料1 報告事項(2)「部活動地域移行アンケート結果について」

別添2 アンケート結果から・・・(分析・考察)

○部活動で身につけたいと思う力について

質問項目	児童生徒	保護者
大会やコンクールで良い成績を収める	45.1%	20.6%
チームワークや協調性を学ぶ	40.8%	80.0%
体力・技術の向上	58.3%	64.3%
運動習慣の形成	22.3%	34.0%
友だちと楽しく練習・活動する	63.5%	72.1%
自信をつける	36.5%	51.4%
社会性(礼儀)を身につける	27.0%	51.2%
特になし	9.5%	1.5%

児童生徒・保護者共に友だちと楽しく練習・活動しながら体力・技術の向上を目指している。実際に活動している児童生徒は良い成績や結果を求めている、保護者は結果よりも礼儀を身につけることや協調性、チームワークを学んでほしいと感じている。  
厳しく練習がハードな活動というより、友だちと一緒に楽しく専門的な技術を学びながら様々な面で成長できる地域クラブを設定していく必要がある。

○学校部活動(平日)と地域クラブ(休日)の所属について

質問項目	児童生徒	保護者
部活動も地域クラブも同じ種目に参加したい	40.7%	56.6%
部活動と地域クラブでは違う種目に参加したい	9.3%	11.4%
部活動には参加したいが、地域クラブには参加したくない	36.4%	17.3%
部活動には参加したくないが、地域クラブには参加したい	3.8%	1.9%
部活動にも地域クラブにも参加したくない	7.3%	1.6%

地域移行の方向性や地域クラブのことについての詳細を示していないので、よく知らず地域移行には否定的な意見が見られる。土日に部活動がなくなることもわかっていないので土日の活動を望む児童生徒も52%程度である。  
保護者の意見として、本人(児童生徒)次第によるが6.4%ありました

保護者

活動場所への送迎の負担については80%近い保護者が心配している。指導者の質(ハラスメント・体罰)に対する意見も多く見られた。その一方で、専門的な指導70%や教員の負担軽減67%など地域移行の趣旨に理解を示している意見も見られている。  
 大会参加や選手登録について、文化部活動の地域移行、印西市の地域移行の時期など、協議会で検討している部分やまだ決定していないことなどの疑問点も挙がった。もっと活発に部活動に取り組んでほしい要望もあまり一生懸命活動してほしくない要望のどちらも挙がりました

## 生徒

現段階では、部活動地域移行について十分に理解している児童生徒は少ない。部活動地域移行のメリット・デメリットや部活動の改革についてはしっかりと知らせる必要がある。

新設の部活動（ダンス・ラグビー）を望む意見

自分の学校にない部活動（女子バレー部はあるのに男子バレー部がない）を望む意見

ジェンダーフリー（女子でも野球やサッカー部に所属したい）を望む意見

現状の部活動に満足なので、地域移行したくない。

地域移行すると、顧問の先生より専門的な指導をコーチから受けられる。

既存のクラブが受け皿になると、クラブのレベルが下がる 等

何も決まってないので、思うままの意見を書いている児童生徒が多い。

今回は、地域移行が実際に進む前の実態調査なので、様々な意見を回答していただき、それをもとに市として部活動地域移行の在り方を模索していく。

要望や疑問をすべて解決できるわけではないが、しっかりと地域移行を進めていけるように事務局が中心となって協議会で審議していただきながら準備をしていく。

⇒部活動地域移行については、不確かな部分が多く難しい問題であるが、

市としての方針や取組について丁寧に説明して理解を求めていく必要がある。